

ものづくりは、本質的に楽しいことだ！

出原ゼミを理解するためのキーワード



Enjoy! ゼミのモットー。自分のアイデアを実現していく過程は、一時的にはつらいかもしれないが、本質的に「楽しい」もの。その楽しさに気づくと、学生生活が楽しくなる。

ロボコン NHK 大学ロボコンのこと。過去3回応募中、本選出場1回、書類通過1回。3回全てリーダーが女子なのは、なにか理由があるのか？

IVRC 現在の正式名称は International Collegiate Virtual Reality Contest。触って遊べる「仕掛け」を作る全国コンテストで、多摩大学は1998年から連続応募中の常連。

Laval Virtual 毎年4月ごろにフランス Laval で行われるヨーロッパ最大級のバーチャルリアリティの祭典。全世界の応募の中から出展を勝ち取るのは、出原ゼミの名誉である。

ダブルスタンダード 二重基準。ゼミ生でない多摩大生に求める基準と、ゼミ生に求める基準が異なっていること。たとえば、喫煙マナーの悪い学生はゼミには残れないなど。

OB/OG 卒業生が、何かと現役生を気に掛けるのが、出原ゼミの特徴。それをうつつおいしいと思う人は、他のゼミを選んだほうが無難。ときに厳しいことも言われるが、現役社会人からのコメントをもらえることがどれほど幸せなことか！

ML 過去ログ 過去のゼミメンバーリストの全記録。中には、大事件の記録もいくつかある。新ゼミ生がまず目を通すべきゼミの歴史。

外に出ろ(1) 「外部に成果を公表し、評価を受けよ」という指示。その第1歩がSRC。先のほうには、フランスが待っている。

SRC 毎年2回行われている多摩大学学内研究発表会。Student Research Conference の略。3年生以上は、原則発表が義務付けられており、2回連続で発表不適格だとゼミの単位を失う。

7限 ゼミの時間は、成果報告と議論の時間である。実際の作業は、他の時間で行わなければならない。よく使われるのが、ゼミの日の通常の時間のあとで、これを7限、8限と称する。

オタクお断り 自分では何も手を動かさないのに批評をやたらと語りたがる人間は、出原ゼミではさげすまれている。いわゆるオタクである。技術的に優れた成果を出せる「マニア」とは区別されていて、ゼミ室にはオタクお断りシールが張ってある。

女子学生 過去に、ロボコン出場とか、初の海外遠征とか、女子学生が絡んだ成果が多い。わざわざうちにくるような女子学生は、やたらと物好きで元気なせいかな？

外に出ろ(2) 「ゼミ室はゼミ活動のためのものだからゼミに関係ない活動は外でやれ」という指示。なので、廊下やアリーナで遊んでいる姿が目撃される。

フランス語 出原ゼミで英語と同等に重視されている言語。人が来ることはよくあるし、行くこともあるかもしれない。

何を目指しているゼミか

社会に出たあとで

1. **新しい技術を自力で理解**していく力があり
2. さまざまな場面で、情報技術によって解決可能な**課題を発見**し
3. それに対する**最適な解決策を提案し、実現**できる

人材を送り出したい。

もっと単純にいうと、いくらでも取替えがきくような人材ではなく、「彼・彼女に任しておけば大丈夫だ」「彼・彼女がそう言うなら、そうにちがいない」といわれる人材を送り出したい。

ゼミでは何をするのか・どんな人に向くのか

プログラミングを主な道具として、漠然とした「アイデア」を、具体的な「プラン」にし、それを実現する。このプロセスのために、必要な知識やスキルを幅広く学ぶ。

言われたことを、言われた手法で、言われたとおりに実現するだけでは、楽しくない。それは出原ゼミではない。活発な議論の中から独自のシステムを生み出していく出原ゼミでは、ゼミ生には、開かれた精神とコミュニケーション力、健全な批判力を期待する。

主な成果(カッコ内は代表者)

- IVRC 全国2位(1998 田中雄)
- NHK Robocon 審査員特別賞(2002 簡野志保)
- IVRC 審査員特別賞(2002 河井大輔)
- Laval Virtual 招待展示(2004 高田泰生)
- SIGGRAPH 招待展示(2004 高田泰生)
- NHK Robocon 書類審査通過(2007 木村綾乃)
- Laval Virtual 招待展示(2008 藤田倫太郎)

主な(派手な)OB・OGの就職先・現職

アンリツエンジニアリング、NTTコムウェア、NTTデータ、会社社長、セガ、ソニーコンピュータエンタテインメント、フロムソフト、楽天

ゼミ応募時に準備するもの

研究計画書 A4で2枚程度

- ゼミでどんなことを実現したいか
- そのために、現在どのような研究があるか
- そのために、どのような手順でどのように研究していくか
- そのために、今現在どのようなことをしているか

研究計画書を元に、面接を行います。

出原ゼミの3年間+α

